

# 左近山中だより

平成 31 年 2 月 12 日  
横浜市立左近山中学校  
校長 福田 有志  
No. 9

## 「目標に向けて」

年末・年始と穏やかな天候に恵まれて新年を迎えることができました。今年も左近山連合自治会 50 周年記念の年となりました。新年の御挨拶とともにお慶び申し上げます。また、左近山連合自治会長をはじめ地域の会長・役員のみなさまには、「ほっとさこんやま」での「さくら教室」運営等で本校生徒のためにご尽力をいただきました。2019 年も、新たな気持ちで本校の様々な課題に取り組んでいきたいと職員一同考えておりますので、今後共温かい御支援・御協力をいただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。



さて、先日の 1 月 19 日（土）に私が以前勤務していた中村特別支援学校で成人を祝う会が行われました。現在 12 校ある横浜市立の特別支援学校の一つで、肢体不自由の児童生徒を対象とした学校です。高等部（一般高校の年代にあたる）を卒業した生徒たちが成人となったことをお祝いするために毎年開かれています。関わりを持った生徒たちと保護者のみなさんと久しぶりに会って「おめでとう」と声をかけることができ、感慨深い一日となりました。左近山地区でも、左近山第二小学校の跡地に今年の 4 月から左近山特別支援学校が開校されます。この左近山特別支援学校も肢体不自由の児童生徒を対象とした学校です。同じ左近山地区の学校として小学校に加えて、本校との交流も期待されます。



新年となって早くも一か月が過ぎようとしています。3 年生は卒業後の進路そして将来を考えて、進路を選択しました。将来就きたい職業を具体的に決めていて、そのために今後何をどのように学んでいくかを考えている 3 年生のみなさんと直接話をする機会がありました。これからの夢に向けて、しっかりと目標を持ったみなさんからは力強いエネルギーを感じました。2 年生は、3 年生が 3 月 11 日に卒業した後、学校を代表する学年となります。生徒会役員や専門委員、部活動など

で既に中心となって活躍していますが、より一層の活躍を期待しています。1 年生も学校を支えていく上級生としての自覚と意識をもって、力を発揮して活躍していくことを期待しています。

今、自分は何をしたらよいのか。優先すべきことは何か。これからも元気に生徒のみなさんが登校して、一人ひとりが自分の目標に向けて前進するとともに、優しさと思いやりをもって、健康で笑顔で学校生活を送れるように願っています。



# 人権教育講演会

11月26日(月) View-Net 神奈川の新城 直さんを講師として、国際理解・人権教育講演会を開催いたしました。「障害」ってなんだろう・「障害」はどこにあるんだろう～体にある障害と社会にある障害～と題して、誰もが安心して過ごせる社会にしていくための心のユニバーサルデザインについて、視覚障害者用のパソコンを駆使して、オヤジギャグを入れながら、生徒とのコミュニケーションを大切に楽しく講演をしていただきました。障害とは、個人の心身機能の障害ことだけに関わらず、どのような人に対しても困ることが起こる原因のことであり、それを解決する仕組みが社会の中にあることが大切であるという社会モデルの考え方について、視覚障害者の横断歩道の例を挙げて、分かりやすく説明していただきました。互いの違いを認め合い、相手の立場に立って、配慮し合うことで、誰もが困ることなく、楽しく暮らせるようになると教えていただきました。講演会后、生徒の振り返りシートにも面白い話だったとか、「配慮」のできる人になりたいなどの感想が多くみられました。

(人権教育担当 鈴木孝文)

## 書初め

今年も、冬休みの宿題として書初めの課題がありました。国語科職員による審査を行い、金賞の作品を職員室前の廊下に掲示しています。同時に、横浜市の総合文化祭に出品した作品も展示しています。

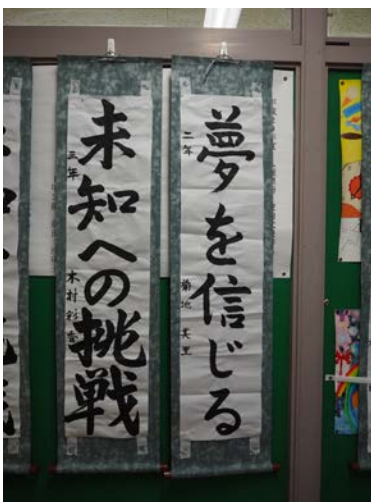
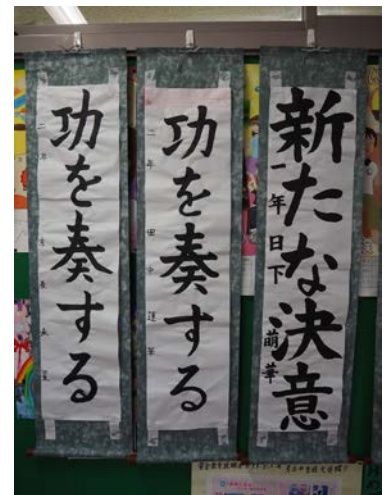
### 金賞受賞者

- 1年生 3名
- 2年生 3名
- 3年生 4名

### 総合文化祭出品

- 1年2組 女子生徒 3組 女子生徒
- 2年2組 女子生徒 2名

(国語科 山口悦子)





# 百人一首大会に向けて

3月に行われる百人一首大会の練習が始まっています。昨年度から、学年を越えての練習会も行っています。大会は学年ごとなので、他学年の様子が分かる機会でもあります。

この時期は二年生が力を伸ばして、三年生に勝つこともあります。百人一首大会は

1年生 3月18日

2年生 3月19日

3年生 3月1日の予定です。

(国語科 山口悦子)



## 修学旅行新聞 表彰

3年生は、修学旅行のまとめとして班新聞を作成しました。

1年生でのスキー教室新聞から、5回目となりますが内容・レイアウト共にとても成長しました。10月の文化祭で展示して、投票によって選ばれた8作品を横浜市新聞コンクールに出品しました。そのうち、2作品が「奨励賞」を受賞しました。

「京都・奈良散策」 3年2組



「京の一押し」 3年4組



## 第61回個別支援学級合同同学芸会

# 『迫熱の舞台 感動して感動させます』

2月1日、平成最後の合同同学芸会が西公会堂で開催されました。左近山中は、和太鼓で「紅蓮の弓矢」「情熱大陸」を演奏しました。文化祭での反省をいかすべく、練習に励みました。太鼓を何度も叩いたので、手のマメをつぶす生徒もいました。

いよいよ当日です。緞帳の後ろでは、生徒たちが、やる気と自信に満ちた表情で待機していました。演奏が終わった瞬間、一瞬の静寂が会場を包み込みました。そして500人以上の割れんばかりの拍手が沸き起こりました。その喝采の中には、満面の笑顔と自信に満ちあふれた12『迫熱の舞台 ～感動して感動させます』人が確かにいました。

～生徒の感想より～

- ・文化祭のときより動きが大きくなっていたので、練習の成果が出たと思いました。
- ・最後の合同同学芸会は、あまりミスをせず、最後までやりきれたので最高でした。
- ・自分は太鼓で失敗をしてしまったところがありました。
- ・演奏では、間違えてしまったり、音が聞き取れなかったりしたけど最後までやってよかったです。
- ・頑張りました。よかったです。
- ・文化祭の時よりみんな上手にたたけていたのでよかったです。
- ・スキー教室で疲れたし緊張もしました。でもみんなと演奏できてよかったです。
- ・練習の成果を発揮することができたと思います。
- ・本番ではミスしないように演奏できたし、上手くできたのでよかったです。
- ・最後の合同同学芸会でした。大きな音で叩くことを意識しました。
- ・迫力があり、心から感動しました。中学校生活最後の合同同学芸会でとてもよい思い出になりました。



(5組 担任 永沼愛美)